



建交労



2023年11月31日

かながわけんなんしふ

建交労神奈川県南支部

2023年秋季年末闘争 No.10

2023年度推進ニュース①通算311号

発行責任者 小島 茂

神奈川県南支部第30回定期大会を開催 活発な討論(10人発言)で展望語り合う!

神奈川県南支部は、10月29日(日)13:00から川崎市教育文化会館で第30回定期大会を開催し役員・代議員合わせて12名が参加しました。現在、支部の組織や運動は重要な課題が山積しており、それを克服するために執行部体制だけでなく豊かな経験と知恵を持つ組合員の力の総結集が求められています。

今回の第30回定期大会は、そうした仲間の力を結集していくための契機となるようにとの思いをもって開催しました。

清野副委員長(写真①)の開会挨拶ではじまった大会は、合同分会の和泉代議員(写真②)を議長に選出して進行しました。

小島委員長(写真③)は、「物価高騰の影響はあらゆる分野に及び生活や事業に大きな負担となっている。一方、岸田政権はウクライナ危機に乗じて「反撃能力」「敵基地攻撃能力の保有」など大軍拡を強行しているが、軍事対立では平和を守ることができない。平和憲法を活かし平和外交に徹すべき」と指摘しました。

また、「トラック運輸産業では2024年問題で運転者の収入が減少し運転者不足が加速して物流が滞ることがないよう運転者の労働条件改善が急務だ。それには労働組合が重要な鍵を握っている。支部は大幅賃上げはじめ組織の強化と拡大をはかる運動を全組合員で展開していこう」と、主催者挨拶を結びました。

そのあと、資格審査委員・議事運営委員に選出された合同分会の益山代議員(写真④)による大会参加状況と議事運営の報告・提案が確認・承認されたのに続いて選挙管理委員長の河野代議員(写真⑤)から役員選挙に関する報告が行われました。

そのあとに行われた金崎書記長(写真⑥)による議案提案では過去1年間の経過で「春闘・一時金の経済闘争では、物価高騰に対応する全国的な傾向も反映されて一定の前進面を築くことができたが、組織拡大の課題では大きく後退した」ことが報告され、2023年度の運動方針では「建交労の方針に団結し、原則的で積極的かつ柔軟な運動の展開」が提案されました。

建交労神奈川県南支部 第30回定期大会

憲法が生きる安全・安心なトラック職目をめざして
100名支部の構築と活発な組織建設を!
2023年10月29日 川崎市教育文化会館



①



②



③



④



⑤



⑥



休憩後には、和泉議長の采配で役員を含む参加者全員の発言による討論がすすめられました。支部の会計監査で内外液輸分会の三浦さん(写真⑦)はじめ支部執行委員で東進産業分会の須田さん(写真⑧)、中日臨海バス分会の三上代議員(写真⑨)、小島委員長清野副委員長、金崎書記長が職場と組織の現状を報告し今後の運動への決意を述べました。佐藤執行委員(写真⑩)からは「試作した支部のホームページを早急に完成させ積極活用をはかりたい」と報告がありました。また、合同分会の根井代議員(写真⑪)は「組織や組合員の積極面を活かして力を合わせれば現状は克服できる」と参加者を鼓舞しました。合同分会の河野代議員からは「年齢を重ねるにつれて組合活動もまだまだやらなければならないという思いが強くなっている。」と力強く発言しました。

その後、新役員(写真⑫)の信任を含め、すべての議案が全員の賛成で採択され、須田執行委員の閉会挨拶、小島委員長による団結ガンバロウの発声で大会は成功裏に終了しました。



⑫

東神TSでS1に関わる聞き取り調査を実施 全国トラック部会など4名で43人から聴き取り



10月30日、建交労全国トラック部会は警察庁と国土交通省から要請された「高速道路における大型貨物自動車等の最高速度に関する意見」の集約活動を東神TSで実施しました。参加者は写真左から全国トラック部会の鈴木事務局長、神田支部の上村委員長、県南支部の赤羽特執、埼玉トラック部会の白原幹事による4名でした。快晴となった東神TSの広い敷地は、この日も満車の状態がつづき、入れ替わりで休憩や休息に入ってくる運転者に声をかけて聴き取りをすすめ約2時間30分程の行動で、運転者43名からの意見を集約することができました。

県南支部の各分会・班は「高速道路における大型貨物自動車等の最高速度に関する意見」(次ページの用紙)を使って、建交労の大型ドライバー組合員に記入してもらってください。また、一人でも多くの大型運転手仲間からも聴き取り調査を行ってください。(用紙はコピーして頂けると助かります)

< 高速道路における大型貨物自動車等の最高速度に関する意見 >

1 現行のリミッター（90 km/h を上限）の装着は必要だと思いますか？

1. はい 2. いいえ そう思う理由は（ ）

2 現行のリミッター範囲内での速度の引上げ（90km/h まで）は必要だと思いますか？

1. はい 2. いいえ そう思う理由は（ ）

3 現行のリミッターの上限速度を上げるか、またはリミッターを取り外した上での普通車等と同じ速度程度まで（いずれも 100km/h またはそれ以上）への速度の引上げは必要だと思いますか？

1. はい 2. いいえ そう思う理由は（ ）

4 最高速度を引上げる場合における有効と思われる安全支援装置はどれですか？（いくつでも選んでください）

1. 衝突軽減ブレーキ 2. 車線逸脱防止装置 3. 定速走行・車間距離制御装置
4. ドライバー異常時対応システム等 5. その他（ ）

5 高速道路における大型貨物自動車等の最高速度を引き上げる際に、必要となる条件や有効と思われる安全対策は何だと思いますか

6 積み荷作業や待機時間等の改善の必要性

1. 必要 2. 必要ない そう思う理由は（ ）

7 その他、速度の引上げに関する意見をお聞かせください

8 ご意見をいただいた方に関する事項について

- ・ 年齢 歳
- ・ 性別
- ・ 居住地方
- ・ 運転手歴 年
- ・ 高速道路を運転する機会が最も多い車種 トレーラー 大型 中型 小型
- ・ 高速道路の運転頻度 （ 回/週） （ 回/月）